

平成27年度

事業報告書

公益財団法人 日産厚生会

I. 事業報告

当財団の事業は、臨床的調査研究により医療の質の向上を図り、病院・診療所等の運営を通して疾病治療、診療、健診、救急医療等の医療を提供し、地域住民の健康増進に寄与することで公衆衛生の向上等に資することを目的としている。

平成27年度は引き続き各施設が医学的研究事業の実践とその成果の普及に取り組んだ。活動等の状況は、次のとおり。

1. 主要な活動状況

(1) 臨床研究等

玉川病院の研究センター（気胸、透析、股関節、ヘルニア、リハビリテーションの各センター）及び各診療科を主体として研究・調査を推進した。

今年度は医学研究所が各診療科へ、現在研究中の案件及び今後検討予定の研究課題等についてヒヤリングを実施し、進捗状況の確認と研究活動促進を図った。

また、昨年度に引き続き平成28年2月に、各施設における代表的な研究成果を全施設関係者が一堂に会して発表する第2回医学フォーラムを開催した。（全体で16演題）

なお、当年度における研究発表等の主な実績は「別表1 講演・研究発表等目録」に記載のとおり。

(2) 健康普及啓発活動

玉川病院では、院内においては、糖尿病に関する講習会、腎臓病教室、呼吸リハビリテーション教室、看護の日（ふれあいDAY）、その他健康セミナーの開催や健康診断受診者を中心とした小冊子の配布等を行った。院外活動として、玉川救急フェアでのAED講習会、地域小学校での熱中症講習会等を開催、また、平成27年12月から玉川地区の町内会と連携し、東急二子玉川駅の近辺の町会施設にて、玉川病院の医師による「市民公開講座」を開催しており、好評を博している。

佐倉厚生園病院では、毎月恒例となった糖尿病教室や一昨年からは始めた市民公開病院祭等を引き続き開催した。

診療所及び玉川クリニックでは、健康診断受診者を中心に、各受診項目に関する基準値及び対策等を記述した小冊子の配布を行なっている。

(3) 社会福祉への貢献

佐倉厚生園病院は、隣接する特別養護老人ホーム等社会福祉施設の協定病院として、高齢者医療を支援し、地域福祉の向上に努めている。また、印旛・山武圏域における介護保険事業推進のための「印旛・山武介護保険事業支援計画・老人保健福祉計画圏域連絡協議会」の委員病院を務める等、地方自治体と連携・協力を行なっている。

(4) 医療活動

当年度の患者・利用者数は「別表2 診療状況等」に記載のとおり。

(5) 各種教育・人材育成の推進

①臨床研修医の指導

玉川病院：基幹型及び協力型臨床研修指定病院として研修医受入（8名）。
佐倉厚生園病院：東邦大医療センター佐倉病院からの研修医（3名）の地域保健医療研修。

②その他の実習指導

玉川病院及び佐倉厚生園病院（佐倉ホワイエ含む）において、医療・介護関連の大学・専門学校等の学生に対し実習の場を提供し指導を行っている。当年度の実施状況は次のとおり。

医学関連1名、看護関連183名、薬剤関連11名、リハビリ関連13名、
栄養士関連7名、メディカルソーシャルワーカー関連2名、
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士12名、臨床検査技師2名、
臨床工学技士3名、介護福祉関連3名、医療事務関連7名

2. 設備等その他の状況

(1) 玉川病院

- ①冷温水発生装置更新のⅡ期工事及び手術室冷温水配管の工事を行い機能回復及び環境の改善を図った。
- ②北病棟のエアコンを更新し、療養環境の整備を行った。
- ③西側駐車場の整備を行い安全性向上を図った。
- ④医療機器については、移動式デジタルX線透視装置の購入、ビデオスコープ、超音波診断装置の更新等診断精度の向上を図った。

(2) 玉川クリニック

- ①昇降式透視台胃X線テレビシステム装置を更新し、健康診断機能の向上を図った。
- ②血圧脈波検査装置、ホルター心電器を更新し、循環器系医療の設備機器の充実を図った。

(3) 佐倉厚生園病院

- ①厨房事務室等の改装工事、本館及び記念館の照明設備のLED化、遊休地及び病院大駐車場並びに貯水槽等の敷地境界へのフェンス設置等の工事による環境整備を図った。
- ②全自動散薬分包機、PACS用高精細モニター、リハビリ支援システム等を導入し、業務の改善を図った。

(4) 佐倉ホワイエ

- ①館内非常放送設備、本館の電気錠システム等を更新し、安全性向上を図った。
- ②デイケアセンターの空調機器や本館の特殊浴槽を更新し、療養環境整備を図った。

(5) 診療所

- ①契約企業における産業医活動を積極的に行い、健診結果に対する助言指導や面接による保健指導や講演活動などを通して健診の重要性の啓発に努め、健診受診者数の増加と健診内容の充実による保健予防活動の充実を図った。
- ②健診システム（ヘルゼアネクスト）を更新し、健診業務の作業効率向上を図るとともに、予防医学的な研究に取り組む第一歩として、健診データの集積・分析のシステム構築に取りかかった。
- ③医療機器については、上部消化管ビデオスコープを更新した。また、耳鼻科にマルチスタイル画像システムを導入し、画像所見をデジタル化して診療の利便性を高め、将来の電子カルテ化に備えた。
- ④東京大学医学部代謝生理化学教室での数理医学研究会に定期的に参加し、研究目標を模索した。

II 理事会・常任理事会・評議員会

平成27年度における理事会、常任理事会及び評議員会の開催日と議題は次のとおりである。

開催日	議決事項
定時理事会 平成27年5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告及び決算について ・定時評議員会に提出する理事及び監事の候補者名簿について ・定時評議員会の開催について 「報告事項」 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設長による業務執行状況の報告
臨時理事会 平成27年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長(代表理事)、会長、副理事長及び常任理事の選任について ・業務執行理事の選任及びその分担業務について ・諸規則の一部変更について ・常勤理事の平成27年度報酬額について
定時理事会 平成28年3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業計画書及び収支予算書(案)について 「報告事項」 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設長による職務執行状況の報告
常任理事会 平成27年4月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・定年退職並びに嘱託再雇用について(診療所) ・職員の定年退職・嘱託再雇用について(佐 倉) 「協議事項」 <ul style="list-style-type: none"> ・5月28日開催定時理事会付議事項について <ul style="list-style-type: none"> ①平成26年度事業報告及び決算について ②定時評議員会に提出する理事及び監事の候補者名簿について ③定時評議員会の開催について <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度決算の承認について ・理事及び監事の選任について ・評議員一名の選任について ・定款の一部変更について ・「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」の一部変更について ・平成26年度の事業報告について
平成27年5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度夏季賞与の支給要領について(事務局) 「協議事項」 <ul style="list-style-type: none"> ・5月28日開催定時理事会付議事項について <ul style="list-style-type: none"> ①平成26年度事業報告及び決算について
平成27年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・「リハビリテーション支援システム」の導入について(佐 倉) ・「パートタイム職員就業規則」の制定について(佐 倉)

開 催 日	議 決 事 項
平成27年7月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確定給付企業年金保険料の改定について(事務局) ・ 土地の一部等価交換について(佐 倉) ・ 医療機器の更新について(佐 倉) ・ 職員の定年退職・嘱託再雇用について(佐 倉) ・ 職員の退職について(佐 倉)
平成27年9月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計規則の改定について (事務局) ・ 空調設備の更新について (佐倉) ・ 健診業務トータルサポートシステム(ヘルゼア)の更新について(診療所)
平成27年10月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度年末賞与の支給要領について(事務局) ・ 「組織運用図」の一部改定について (佐倉)
平成27年12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度各施設の年度目標について (各施設) ・ 平成28年度事業計画書及び収支予算書の作成について (事務局) ・ 病院本館大規模修繕工事について (佐倉) ・ 玉川クリニックの預金口座開設について (事務局) ・ 職員の採用及び退職について (事務局)
平成28年1月28日	<p>「報告事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設長報告
平成28年2月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度昇格者選考について(各施設) <p>「協議事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月24日開催定時理事会付議事項について <ul style="list-style-type: none"> ①平成28年度事業計画書及び収支予算書(案)について ②施設長による職務執行状況の報告
平成28年3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度給与改定の実施要領について(事務局) ・ 職員の退職について (佐倉) <p>「協議事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月24日開催定時理事会付議事項追加議案について <ul style="list-style-type: none"> ①資金調達及び設備投資の見込 ②医学研究所所長の再任の件
<p>定時評議員会 平成27年6月11日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度決算の承認について ・ 理事及び監事の選任について ・ 評議員一名の選任について ・ 定款の一部変更について ・ 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」の一部変更について <p>「報告事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度の事業報告について

講演・研究発表等目録

1. 講演

【玉川病院】

診療部	発表名	講演会名
気胸研究センター	気胸と肺がんの外科治療について	世田谷医師会定期学術講演会
	肺気腫～肺の病気の考え方～	ベネッセ地域医療セミナー
	加齢に伴う息苦しきの原因と治療	
	ハイリスク難治性気胸	第68回日本胸部外科学会定期学術集会
	難治性気胸治療	秋田気胸コンセンサス・ミーティング
	Talk of Catamenial Pneumothorax	Korean-Japan Joint BHD conference by Yonsei Thoracic surgeries Society
	Thoracoscopic Surgery for BHD Syndrome with Pneumothorax	
	月経随伴性気胸の診断と治療	第3回鹿児島呼吸器外科気胸セミナー
	気胸・肺のう胞の胸腔鏡診断	第15回気胸肺のう胞スタディグループ勉強会
股関節センター	大腿骨転子部骨折術後の深部静脈血栓症予防に関する 前向きな無作為比較試験	北水会記念病院研修会
	教育研修講演 人工股関節ステムの選択基準 -年齢、骨質、大腿骨形態に応じた戦略-	第88回日本整形外科学会学術総会
	THA における合併症対策と克服のヒント -失敗から得られた教訓と改善-	第5回徳島市民病院研修会
	股関節の痛みを悩んでいませんか？ ～原因・治療・リハビリの視点から～	ベネッセ医療セミナー
	骨粗しょう症とロコモティブシンドローム	
	変形性股関節症の基礎・治療・疼痛管理	アステラス製薬社内研修会
	股関節痛と股関節部痛	第9回金沢サンセットセミナー
	3 Dimensional Shape Of The Dysplastic Femur	2nd ICJR SEA
	Acetabular Discontinuity - Reconstruction and Results	
	下肢の関節疾患の病態と治療	日本運動器看護学会認定看護師研修会
	進行期股関節症に対する治療戦略 骨切りか人工関節か	第42回日本股関節学会学術集会
	Modified Watson-Jones approachによる人工股関節置換術	第42回日本股関節学会学術集会
	人工股関節の歴史と現況	
	患者へのインフォームドコンセント	第6回 Zimmer hip expert camp
	困難症例への対処法	
	整形外科手術におけるチームマネジメント	
	Bearing surfaces for Revision Total Hip Arthroplasty : an essential choice	Tribology Day Science and Practice in Japan
成人股関節疾患に対する治療 -リハビリを含めた各種治療法の適応と限界-	整形外科臨床を語る会 4thシリーズ 第4回	
Considerations For Cup Placement With DDH	第2回CORAIL LEARNING CENTRE	
リハビリテーション センター	持続的刺激ドパミンアゴニストで副作用を認めたPDD	第7回城南PD治療懇話会
	認知症にはタイプがある ～専門医に聞いて学ぶ認知症の種類と向き合い方・治療法～ 脳卒中の理解とその回復に向けたリハビリテーションについて ～家族が知っておくべきこと～	ベネッセ地域医療セミナー
	認知症の症状と診断	実地医家のための認知症勉強会in世田谷
	脳卒中について	
	脳卒中の克服	玉川病院公開講座
	脳卒中の克服 リハビリ・在宅期の生活について	
	注意障害	区西南部高次脳機能障害者支援及事業 「専門的リハビリテーションの充実」症例検討会
認知症の診断と治療 -アルツハイマー病とレビー小体型認知症について-	第2回世田谷区医師会医療連携定期学術講演会	
循環器内科	循環器専門医から見た糖尿病患者管理	東京都医師会糖尿病予防推進医講習会
	当院における不整脈診断と治療	第5回玉川地区医療連携フォーラム
	循環器領域患者の自律神経過緊張が眠気症状に及ぼす 影響についての検討	第9回東京循環器睡眠呼吸障害研究会
	患者・介護者における自律神経症状とその対策	認知症特別講座
	呼吸が生み出す体の変化を見つめる	調和道協会 秋の大会
呼吸法が生み出す身体の変化について	健康増進事業特別講座「丹田呼吸法」	

診療部	発表名	講演会名
循環器内科	「心臓病のはなし」～心筋梗塞の予防から最新の治療まで～	第2回玉川病院 市民公開講座
	動脈硬化と血管年齢	ベネッセ地域医療セミナー
呼吸器内科	身体活動計から呼吸器診療を考える	第6回城南呼吸器疾患研究会
	「治療としての歩行」～歩くこと、ウォーキングについて考える～	第4回玉川病院市民公開講座
消化器内科	潰瘍性大腸炎の治療	世田谷医師会第1回定期学術講演会
泌尿器科	「最近よく聞く”前立腺”って何？」 ～前立腺肥大症と癌検診を中心に～	ベネッセ医療セミナー
	PSA検診における留意点～前立腺肥大症を中心に～	日本新薬社内研修会
	当院で行っているGreen Light HPSIによる 光選択的前立腺蒸散術(PVP)	第5回玉川地区医療連携フォーラム
眼科	「高齢者と眼の病気」 ～白内障・緑内障・加齢黄斑変性の診断と治療～	第3回玉川病院市民公開講座
	高齢者と眼の病気	ベネッセ医療セミナー
医療技術部・看護部	発表名	講演会名
臨床工学科	人工呼吸器および呼吸器モニタのトラブル事例と対策	平成27年度医療機器安全基礎講習会
リハビリテーション科	在宅における呼吸リハビリテーション	訪問看護師育成基本コース 第1回
	THA術後リハビリテーションにおける現状と課題	第42回日本股関節学会学術集会
	在宅における呼吸器リハビリテーション(実技講義)	横浜市立脳卒中・神経脊髄センター リハビリテーション交流会
	ALS患者のリハビリテーションのポイント	西北ブロック「秋の交流会」
	他職種との視点を生かした、より効果的な介護予防 ケアマネジメントについて	新しい介護予防・日常生活支援総合事業における 介護予防ケアマネジメント研修会
検査科	性感染症予防	東京都臨床検査技師会主催 STI教室
連携支援センター	介護生活に必要な制度と知識	認知症について語る会
看護部	「おうちで実践! ～床ずれ予防と高齢者のスキンケア～」	ベネッセ医療セミナー
	THA後の日常動作獲得に向けた看護支援	第42回日本股関節学会学術集会
	ストーリーケアの基礎	ザイタック ストーリーケア勉強会

【佐倉厚生園病院】

診療部	発表名	講演会名
診療部	印旛の医療～今とこれから～	成田革新懇話会市民医療講演会
	職場の健康管理	日本甲状腺学会

【診療所】

健康管理部	発表名	講演会名
健康管理部	生活習慣病の成因について	川崎近海汽船＝健康セミナー
	体と心のメンテナンス	日油川崎事業所＝健康講演会
	職場における受動喫煙防止対策	テブコカスタマーサービス＝健康セミナー
	職場における熱中症対策	東電タウンプランニング＝健康セミナー
	ストレスチェック制度について	東邦物産＝健康セミナー
	メンタルヘルス研修	NOFメタルコーティングス＝健康講演会
	長時間労働による健康障害	ネオファースト生命＝健康セミナー
	健康診断・ストレスチェックについて	東洋製罐テクニカル本部＝健康講演会
	ストレスチェックとセルフケア	昭和電工ガスプロダクツ＝健康講演会
	過重労働による健康障害の予防と対策	メフォス＝健康セミナー
	メタボリックシンドロームの予防と対策	共栄火災＝健康セミナー
	職場における健康管理	東罐興業＝健康講演会
	睡眠障害について	DTS 東京本社＝健康セミナー
	職場におけるメンタルヘルス対策	テブコカスタマーサービス＝健康セミナー

2. 発表

【玉川病院】

診療部	発表名	学会名
透析センター	糖尿病透析予防指導チームによる包括的指導の効果	第60回日本透析医学会 学術集会・総会
ヘルニアセンター	再発ヘルニアに対するベストプラクティス	第13回日本ヘルニア学会学術集会
	I型ヘルニアにおける難渋例(De novo Type、Sliding type)の治療戦略	
	内視鏡下ヘルニア手術の手技と工夫(TAPPにおけるマーキングの有用性)	
	TAPPにおけるDe novo型鼠径ヘルニアの治療戦略	第77回日本臨床外科学会総会
	TAPPにおけるマーキングの有用性とde novo typeへの応用	
縦隔内胃穿通を合併した巨大食道裂孔ヘルニアの1例		
気胸研究センター	再発性難治性気胸に対する胸腔鏡下全胸膜COVERING術 (胸膜癒着療法に代わる究極の難治性気胸治療法となりうるか?)	第115回日本外科学会定期学術集会
	月経随伴性気胸における横隔膜MRI所見の検討	第55回日本呼吸器学会学術講演会
	胸腔内子宮内膜症関連気胸における気胸発症日の検討	
	気胸を繰り返すBirt-Hogg-Dube症候群に対する胸膜カバーリング術の有効性	第32回日本呼吸器外科医会総会
	男性LAMの一手術例	第14回気胸肺嚢胞 スタディグループ勉強会
	胸腔子宮内膜症関連気胸の月経周期における発症日の検討	
	胸腔鏡下全胸膜 COVERING 術(TPC)は胸膜癒着療法に代わる治療法となりうるか?	第19回日本気胸・嚢胞性肺疾患 学会総会
	難治性気胸の治療:BHD症候群に対する胸膜カバーリング術の 範囲と気胸再発率に関する検討	
	Marfan 症候群における自然気胸患者の臨床的特徴の検討	
	遅延性外傷性気胸に対し観血的整復固定術を施行した1例	
	左臓側胸膜子宮内膜症性気胸の1例	
	BHD症候群を考慮すべき臨床指標の検討	
	FACSIによるLAM細胞分離法の確立	
	The lower pleural covering technique for Birt-Hogg-Dubé syndrome (BHDS) with recurrent pneumothorax	ERS International Congress 2015
	難治性気胸の治療:BirtHoggDubé 症候群の多発肺嚢胞に対する胸膜カバーリング	第68回日本胸部外科学会 定期学術集会
	当科におけるいわゆる月経随伴性気胸手術:胸腔内子宮内膜症の診断精度および 手術成績の検討	第33回千葉呼吸器外科カンファレンス
	難治性気胸へのアプローチと工夫 Birt-Hogg-Dube症候群の難治性気胸に対する 胸膜カバーリング術の範囲に関する工夫	第77回日本臨床外科学会総会
	男性LAM(lymphangiomyomatosis)の1症例	
	気胸を繰り返す難治性多発性またはびまん性嚢胞性肺疾患をどうするか (全胸膜covering術の有効性)	第28回日本内視鏡外科学会総会
	Sensitivity of Narrow Band Imaging in Conjunction with White Light for Detection of Disseminated Thoracic Endometriosis.	APSR(アジア太平洋呼吸器学会)
Clinical features predictive for pneumothorax secondary to BHD Syndrome: a comparison with primary spontaneous pneumothorax.		
胸腔内子宮内膜症関連気胸患者における胸腔鏡下の病変診断精度 および手術成績の検討	第37回日本エンドメトリオース学会 学術講演会	
左臓側胸膜子宮内膜症性気胸の1例		
Accuracy of Narrow Band Imaging in Conjunction with White Light by Thoracoscopy for Detection of Disseminated Thoracic Endometriosis in Patients of Catamenial Pneumothorax	第8回呼吸機能イメージング研究会 学術集会	
左側発症の胸腔内子宮内膜症関連気胸の2手術例	第15回千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学教室例会	
股関節センター	当院のステム選択と設置	Great Expectation Symposium
	Acetabular cup placement in total hip arthroplasty for DDH patients	Corail Symposium
	Acetabular Cups	Biomet Hip Symposium
	Diagnosis and treatment of periprosthetic joint infection	
	人工股関節ステムの長期経過FEA予測解析法の確立	新潟大学工学部との合同研修会
	Proximal fit and fill typeとBlade typeによる術中出血量の比較	
	大腿骨転子部骨折術後の深部静脈血栓症予防に関する前向き無作為比較試験	第88回日本整形外科学会学術総会
	外転拘縮に対する人工股関節置換術	
	大腿骨頸部骨折術後のVTE予防法とその効果について (前向き無作為比較)	
Factors Affecting Progression Of Posterior Pelvic Tilt Angle After Total Hip Arthroplasty	第16回 EFFORT	

診療部	発表名	学会名
股関節センター	国内における大腿骨ステムデザインの現況と大腿骨形態に応じた選択基準	Smith & Nephew Japan Hip & Knee Forum 2015
	Usefulness of HipCOMPASS and TARGET in THA	ISTA 2015
	人工股関節におけるstem自動設置ソフトの検討	第30回日本整形外科学会基礎学術集会
	CT画像を用いた寛骨臼の形態調査	第42回日本股関節学会学術集会
	Modified Watson-Jones (MWJ) アプローチ施行時のステム形状による筋温存の評価について	
	両側人工股関節置換術における適切な自己血貯血量の検討	
	新しい映像技術ARを用いた人工股関節置換術における簡易Navigation System"AR-HIP"	
	cup設置位置とインピンジメントに関する検討	
	遠視固定型ステムにおける近位構造の違いによる骨反応の比較	
	近位大腿骨軸を指標とした大腿骨前捻角の再現性の検討	
	大腿骨座標系における骨頭中心の3次元的位置が人工股関節全置換術前後にどう変化するか	第42回日本股関節学会学術集会
	大腿骨近位部骨折後の骨マネジメント	第68回東京股関節研究会
	Bearing Surfaces for Revision Total Hip Arthroplasty an Essential Choice	Tribology Day Science and Practice in Japan
	Bipolar 型セメントスペーサーを用いた人工股関節置換術後感染の治療経験	第46回日本人工関節学会
	pelvic discontinuity に対するソケット設置方法の検討	
	SL-plus mia stem の初期固定の3次元評価	
	セメントレス人工股関節の利点と課題	
	テーパウェッジ型ステムとツヴァイミュラー型ステムにおけるステム挿入位の検討	
	初回セメントレス THA における寛骨臼骨移植の必要性についての検討	
	過前捻症例における人工股関節置換術 (THA) 前後の内外旋可動域の変化	
側臥位 Antero lateral approach (OCM) の特徴と留意点		
若年者に対するセメントレス THA の長期成績		
THA 術後 5 年の可動域の推移		
前側方アプローチにおける最小侵襲手術 ~関節包の機能に注目して	第21回日本最小侵襲整形外科学会	
リハビリテーションセンター	脳卒中片麻痺患者でのホンダ「歩行アシスト」による歩容変化の検討 ~三次元加速度センサーを用いた解析~	第52回日本リハビリテーション医学会学術集会
循環器内科	The Inverse Correlation of Sympathetic Activity and Daytime Sleepiness in Patients with Heart Failure and Sleep Apnea	JCS2015
	DVTに下大静脈フィルターを留置した一例	第18回東京心臓病研究会
	心タンポナーデを契機に発見された心膜腔内腫瘍の一例	第57回東京心エコー図研究会
	下大静脈フィルター血栓症に対しNOACが奏功したヘパリンアレルギー患者の1例	第236回日本循環器学会関東甲信越地方会
	Patients with idiopathic hypersomnia showed abnormal autonomic cardiac tone during sleep compared to narcolepsy	第40回日本睡眠学会学術集会
呼吸器内科	壁運動異常の回復期に一過性にpost systolic shorteningを呈したたこつぼ型心筋症の一例	第63回日本心臓病学会学術集会 第26回日本心血管画像動態学会
	6分歩行試験(6MWT)における身体活動計(PA計)の応用	第55回日本呼吸器学会学術講演会
脳神経内科	Indications and Complications Associated with Bronchofiberscopy in the Very Elderly	AST2015(American Thoracic Society)
	呼吸器内科医のローンモデル「呼吸器内科医を継続していくために~自分の経験を踏まえて」	第217回日本呼吸器学会関東地方会
外科	急性に失語症を来した、頭蓋内石灰化を伴う左横静脈洞-S状静脈洞部硬膜動静脈瘻の88歳女性例	第214回日本神経学会 関東・甲信越地方会
	初期研修医による腹腔鏡下虫垂切除術の検討	第115回日本外科学会定期学術集会
	食道表在癌内視鏡治療検体を用いたホルマリン固定後BLI拡大内視鏡観察の有効性	第89回日本消化器内視鏡学会総会
	Stathmin1高発現症例におけるSurvivin発現の臨床的意義	第23回日本乳癌学会学術総会
	広背筋皮弁による二次再建後に局所再発をきたした一例	第3回日本乳房オンコプラステックサージャリー学会総会
乳腺外科	超高齢化地域における高齢者胃癌手術の現状	第77回日本臨床外科学会総会
整形外科	当院における外科医のがん在宅医療への関わり	
整形外科	原発性骨腫瘍切除術後骨欠損に対するリン酸カルシウム/コラーゲン材料の使用経験と経時変化	第48回日本整形外科学会骨・軟骨腫瘍学術集会

診療部	発表名	学会名
泌尿器科	尿路感染症より分離された大腸菌に対するキノロン薬(LVFX)感受性の推移	第103回日本泌尿器科学会総会
	当院における光選択的前立腺蒸散術(PVP)の初期経験	第80回日本泌尿器科学会 東部総会
泌尿器科	当院における膿腎症に対する尿管ステント留置の成績	第619回日本泌尿器科学会 東京地方会
皮膚科	Birt-Hogg-Dube 症候群24例における皮膚症状の病理学的検討	第114回日本皮膚科学会総会
	Birt-Hogg-Dube(BHD)症候群の2家族例	第861回日本皮膚科学会東京地方会
	肺病変で Birt Hogg Dubé 症候群が疑われた 31 例における皮膚病変と病理学的検討	第19回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会
	顔面の多発性丘疹	第44回城南皮膚臨床勉強会
	顔面にforehead and scalp plaquesを有した結節性硬化症(TSC)の一例	日本皮膚科学会第864回東京地方会
眼科	サイトメガロウイルス虹彩炎へのガンシクロビル硝子体内注射の効果に関する探索的研究	第69回日本臨床眼科学会
	網膜静脈分枝閉塞に対する高血管内皮増殖因子製剤の効果の検討	第15回世田谷区医師会医学会
麻酔科	全身麻酔下人工股関節全置換術におけるフルビプロフェンアキセチルとアセトアミノフェンの術後鎮痛効果に関する検討	日本麻酔科学会第62回学術集会
臨床研修医	成人腸重責をきたした盲腸脂肪腫の一例	日本消化器病学会 関東支部第337回例会
医療技術部 看護部・事務部	発表名	学会名
臨床工学科	酸素流量計によるインシデントの対策	第23回東京都臨床工学会
	人工股関節全置換術における自己血回収装置の回路クラック経験	第90回日本医療機器学会大会
	酸素流量計管理方法の改善に向けた試み	第25回日本臨床工学会
	電動ベッドの誤操作により恒圧式酸素流量計が破損した事例	第17回日本医療マネジメント学会 学術総会
	インド共和国における血液透析の現状	第60回日本透析医学会学術集会・総会
	腹膜透析の外来導入～臨床工学技士の役割～	
	電動ベッドの誤操作によるインシデントへの対策	第65回日本病院学会
	インド共和国における透析医療環境の視察経験	第44回東京透析研究会
	インド共和国における透析医療環境視察の経験	日本医工学治療学会第32回学術大会
検査科	採血時における禁忌事項の防止対策 ～透析患者を中心に～	第17回日本医療マネジメント学会 学術総会
リハビリ科	人工股関節全置換術後患者での「歩行アシスト」有用性の検討 装着アンケート調査と三次元加速度センサを用いた歩行解析	第50回日本理学療法学術大会
	地域包括ケア病棟における取り組み	第42回日本股関節学会学術集会
	人工股関節全置換術後患者におけるHondaリズム歩行アシスト機の導入による効果 THA後患者セルフエクササイズ実施状況の調査と傾向	
看護部	アサーティブトレーニングとその効果～コミュニケーション能力向上をめざして～	第65回日本病院学会
	腹膜透析業務における看護師・臨床工学技士連携の効果	第60回日本透析医学会 学術集会・総会
	気胸患者におけるデジタルモニタリングシステム(トパーズ®)によるドレーナージ管理の検討-看護の視点から-	第46回日本看護学会 -急性期看護-学術集会
	気胸手術専用の動画を用いた効果的な術前訪問について	第29回日本手術看護学会年次大会
	効果的な術前オリエンテーションの検討	第42回日本股関節学会学術集会
	看護師・臨床工学技士が協働することで期待できる効果	第21回日本透析医学会 学術集会・総会
病院と地域をつなぐ看護の役割～地域包括ケア病棟の開設を経験して～	第49回東京都看護協会看護研究学会	
診療情報管理室	現在の地域包括ケア病棟の活用と今後の方向性	第41回日本診療情報管理学会 学術大会

【佐倉厚生園病院】

診療部	発表名	学会名
診療部	甲状腺機能亢進を呈した甲状腺がんの1例(ポスター発表)	第58回日本甲状腺学会学術集会
	経管栄養中の下痢対策としてできることを考える	ネスレ日本ヘルスケア・ヘルスサイエンスカンパニー-脳卒中と栄養セミナー
看護部	当院の分析結果及びアクションプラン	千葉県看護協会平成27年度護職のWLB推進ワークショップ
	病院概要	千葉県看護協会看護職のワークライフバランス推進フォローアップワークショップ
	子どもと家族の生活を支える在宅療養支援～訪問看護の実際より～	平成27年度長期療養児を対象とする医療-福祉等従事者講演会
	水虫の改善に対するアロマの効果～手足の湿潤および不快臭の改善への取り組み～	第23回日本慢性期医療学会in名古屋

3. 誌上発表・メディア

【玉川病院】

雑誌

診療部	発表名	書籍名
気胸研究センター	Ⅲ胸膜疾患 1 気胸	新呼吸器専門医テキスト 日本呼吸器学会編 504-505
	緊張性気胸	呼吸器内科Vol127(5) 349-359, 2015
	胸膜疾患 気胸	日本呼吸器学会 新呼吸器専門医テキスト 504-505 2015 南江堂
	希少部位子宮内膜症—月経随伴性気胸—	産婦人科の実際 vol 64(7)925-931 2015
	胸部外科緊急手術のup to date 気胸	胸部外科 vol 68(8) 644-653 2015
	Birt-Hogg-Dube症候群	日本臨床 73巻6号 家族性腫瘍学 p64-69, 2015
	健康トラブルQ&A 自然気胸再発の予防法	JUST HEALTH 356号(9月号)P13, 2015 法研 研友企画出版
	若年者自然気胸	レタスクラブ 9月号 P92 KADOKAWA
	有名病院 この診療科のイチ押し治療【気胸】	日刊ゲンダイ 12月15日
	月経随伴性気胸の確定診断と手術適応・術式	日本医事新報 No.4776 P61
	肺から空気が漏れる「気胸」インタープレス	学校保健ニュース No.1704
	高齢者の命に係わる肺の病気	リビング東京南
	膿胸	今日の治療指針2016 医学書院 呼吸器疾患371-372
股関節センター	変形性股関節症治療の実際(監修)	日本医事新報 2016年3月12日号 日本医事新報社 No.4794:17
	変形性股関節症治療のメカニズムと進行	日本医事新報 2016年3月12日号 日本医事新報社 No.4794:18-23
呼吸器内科	気管支喘息	看護学生 2015年5月号 25-31
消化器内科	これでわかる! 疾患の基礎知識 胃・十二指腸潰瘍	看護学生 2015年9月号 25-32
外科	地域医療と専門医療を両輪に存在感を高める	集中 MediCon 11月号 14-16
眼科	白内障	看護学生 2016年3月号
医療技術部・看護部	発表名	書籍名
薬剤科	気管支喘息患者の薬	看護学生 2015年5月号 38-41
	痛みの種類と痛みに効く薬	看護学生 2016年2月号 38-41
	白内障患者の薬	看護学生 2016年3月号 38-41
臨床工学科	呼吸器回路に関連するトラブル事例と対処	Clinical Engineering Vol.26 877-883 2015
	基礎セミナー「人口呼吸器の換気モード」	東京都臨床工学技士会誌Vol26 55-56 2015
看護部	気管支喘息患者の看護	看護学生 2015年5月号 32-36

論文

診療部	発表名	書籍名
気胸センター	重粒子線肺がん治療後再発に対するサルベージ術に関する検討	ヨーロッパ胸部外科学会雑誌
股関節センター	Single wedge stemの設置の違いにおける三次元的評価	Hip Joint Vol: 41: 401-402, 2015
	人工股関節置換術におけるcup設置の指標とは	Hip Joint Vol: 41: 541-543, 2015
	股関節周囲感染の評価におけるFDG-PETの有用性	Hip Joint Vol: 41: 759-763, 2015
	人工股関節置換術における総出血量と適正な自己血貯血量の検討	Hip Joint Vol: 41: 801-803, 2015
	THA術後に腸腰筋impingementを生じたと思われる症例の検討	Hip Joint Vol: 41: 828-833, 2015
	THA施行時の当科におけるfemoral offset再現の試み	Hip Joint Vol: 41: 814-817, 2015
	当科におけるKTプレートを用いた人工股関節置換術の経験	Hip Joint Vol: 41: 911-914, 2015
	ZedHipを用いたSMFシステムの3Dテンプレート評価	Hip Joint Vol: 41: 416-419, 2015
皮膚科	インドネシア(バリ島)から帰国後チクングニア熱を発症した1例	臨床皮膚科 69(7)454-458 2015

メディア出演

所属	メディア名
気胸研究センター	NHK Eテレ チョイス

<別表2>

診 療 状 況 等

a. 入院患者数

(単位:人)

種 別	玉 川 病 院				
	入 院	退 院	延人員	一日平均	対前年差異
一 般	5,941	5,535	85,927	234.8	0.4
回復期リハ	113	141	12,806	35.0	△ 1.7
地域包括ケア	145	562	12,938	35.3	9.8
本年度計	6,199	6,238	111,671	305.1	8.5
前年度計	6,144	6,137	108,271	296.6	
差 異	55	101	3,400	8.5	
対前年度%			103.1		

(単位:人)

種 別	佐 倉 厚 生 園 病 院				
	入 院	退 院	延人員	一日平均	対前年差異
回復期リハ	147	146	14,393	39.3	△ 0.3
医療療養	255	253	44,615	121.9	12.9
介護療養	0	0	0	0.0	△ 16.0
本年度計	402	399	59,008	161.2	△ 3.4
前年度計	402	401	60,081	164.6	
差 異	0	△ 2	△ 1,073	△ 3.4	
対前年度%			98.2		

b. 外来患者数

(単位:人)

科 別	玉 川 病 院				佐 倉 厚 生 園 病 院				診 療 所				玉 川 ク リ ニ ッ ク			
	新 来	再 来	延人員	一日当り	新 来	再 来	延人員	一日当り	新 来	再 来	延人員	一日当り	新 来	再 来	延人員	一日当り
内 科	6,976	66,779	73,755		1,241	14,493	15,734		1,101	5,082	6,183		5,726	16,905	22,631	
外 科	2,825	14,235	17,060						867	1,803	2,670					
呼吸器科					115	1,107	1,222									
リハビリ科	152	4,433	4,585		12	872	884									
皮 膚 科	2,080	16,093	18,173										1,093	1,189	2,282	
泌尿器科	987	9,395	10,382													
整形外科	5,074	25,112	30,186													
産婦人科	1,206	11,969	13,175													
小 児 科	2,061	3,137	5,198													
眼 科	1,158	11,953	13,111										915	1,690	2,605	
耳 鼻 科	1,442	5,833	7,275						3,557	6,983	10,540					
歯 科	840	2,379	3,219													
東洋医学																(3,877)
本年度計	24,801	171,318	196,119	667.1	1,368	16,472	17,840	60.7	5,525	13,868	19,393	79.8	7,734	19,784	27,518	99.6
前年度計	25,479	175,133	200,612	684.6	1,119	16,032	17,151	58.7	5,069	13,862	18,931	77.6	7,046	20,168	27,214	98.0
差 異	△ 678	△ 3,815	△ 4,493	△ 17.5	249	440	689	2.0	456	6	462	2.2	688	△ 384	304	1.6
対前年度%			97.8				104.0				102.4				101.1	

(注) 東洋医学の人数は内科の内数

c. 健康診断

(単位:人)

種 別	玉川病院	佐倉厚生園病院	診療所	玉川クリニック	合 計	対前年差異
生活習慣病健診	7,683	3,164	16,027	3,603	30,477	1,468
採用時健診	361	17	3,912	160	4,450	444
人間ドック	549	5,588	1,207	137	7,481	422
本年度計	8,593	8,769	21,146	3,900	42,408	2,334
前年度計	7,468	8,216	20,862	3,528	40,074	
差 異	1,125	553	284	372	2,334	
対前年度%	115.1	106.7	101.4	110.5	105.8	

d. 手術実施件数(単位:件)

種 別	玉川病院
外 科	991
泌尿器科	138
整形外科	1,294
産婦人科	142
眼 科	291
耳鼻咽喉科	0
皮 膚 科	1
内 科	24
外来手術	184
本年度計	3,065
前年度計	2,978
差 異	87

e. 救急患者件数

(単位:件)

区 分	玉川病院	佐倉厚生園病院	合 計
入 院	1,469	28	1,497
外 来	3,093	14	3,107
本年度計	4,562	42	4,604
前年度計	4,883	40	4,923
差 異	△ 321	2	△ 319

f. 佐倉ホワイエ利用者数

(単位:人)

区 分	入所	退所	入所延人員	1日平均	通所延人員	1日平均
本年度計	126	128	28,877	79.1	12,614	41.0
前年度計	319	319	29,006	79.5	13,513	43.9
差 異	△ 193	△ 191	△ 129	△ 0.4	△ 899	△ 2.9
対前年度%			99.6		93.3	

g. 訪問看護ステーション利用者数

(単位:人)

区 分	玉川病院		佐倉厚生園		合 計	
	延人員	1日平均	延人員	1日平均	延人員	1日平均
本年度計	5,209	17.7	2,232	7.5	7,441	25.2
前年度計	5,120	17.4	2,278	7.7	7,398	25.1
差 異	89	0.3	△ 46	△ 0.2	43	0.1
対前年度%	101.7		98.0		100.6	

h. 居宅介護支援事業所利用者数

(単位:人)

区 分	玉川病院	佐倉厚生園	合 計
新 規	3	55	58
継 続	278	1,220	1,498
終 了	2	59	61
本年度計	281	1,275	1,556
前年度計	337	1,253	1,590
差 異	△ 56	22	△ 34
対前年度%	83.4	101.8	97.9

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28年6月

公益財団法人日産厚生会

平成27年度

貸借対照表

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書内訳表

財務諸表に対する注記

附属明細書

財産目録

公益財団法人 日産厚生会

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	10,191,378	6,756,634	3,434,744
預 金	2,939,603,616	2,837,298,466	102,305,150
医 業 未 収 金	2,638,054,732	2,563,666,200	74,388,532
未 収 金	11,870,238	22,196,583	△ 10,326,345
貯 蔵 品	79,435,793	77,523,391	1,912,402
短 期 貸 付 金	19,677,308	22,463,459	△ 2,786,151
前 払 金	2,327,774	2,500	2,325,274
仮 払 金		750,000	△ 750,000
立 替 金	2,384,039	2,044,066	339,973
流動繰延税金資産	9,621,432	9,621,432	
流動資産合計	5,713,166,310	5,542,322,731	170,843,579
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預 金	300,000,000	300,000,000	
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	
(2) 特定資産			
建 物 付 属 設 備	12,689,195	15,334,066	△ 2,644,871
医 療 用 器 械	14,888,117	26,129,134	△ 11,241,017
特定資産合計	27,577,312	41,463,200	△ 13,885,888
(3) その他固定資産 (有形固定資産)			
土 地	770,200,908	770,200,908	
建 物	1,741,994,624	1,815,093,390	△ 73,098,766
建 物 付 属 設 備	1,005,522,158	1,101,218,080	△ 95,695,922
構 築 物	49,374,577	35,891,315	13,483,262
医 療 用 器 械	539,355,036	670,011,915	△ 130,656,879
医 療 用 備 品	3,124,477	3,555,818	△ 431,341
そ の 他 の 器 械	122,894,166	101,811,406	21,082,760
そ の 他 の 備 品	1,927,554	4,076,988	△ 2,149,434
車 両	1,524,592	4,400,456	△ 2,875,864
リ ー ス 資 産	163,650,640	242,484,080	△ 78,833,440
建 設 仮 勘 定	16,920,000		16,920,000
有形固定資産合計	4,416,488,732	4,748,744,356	△ 332,255,624
(無形固定資産)			
電 話 加 入 権	1,643,095	1,643,095	
ソ フ ト ウ ェ ア	54,737,339	54,241,763	495,576
無形固定資産合計	56,380,434	55,884,858	495,576
(その他の固定資産)			
長 期 貸 付 金	6,625,178	8,186,615	△ 1,561,437
繰 延 消 費 税	71,363,647	79,179,685	△ 7,816,038
長 期 前 払 費 用	6,770,751	8,383,097	△ 1,612,346
敷 金 ・ 保 証 金	41,845,478	42,489,478	△ 644,000
預 託 金	272,990	265,490	7,500
固定繰延税金資産	42,890,715	42,890,715	
その他の資産合計	169,768,759	181,395,080	△ 11,626,321
その他固定資産合計	4,642,637,925	4,986,024,294	△ 343,386,369
固定資産合計	4,970,215,237	5,327,487,494	△ 357,272,257
資産合計	10,683,381,547	10,869,810,225	△ 186,428,678

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
買 掛 金	589,767,259	566,732,505	23,034,754
未 払 金	212,358,435	319,597,697	△ 107,239,262
短 期 借 入 金	200,000,000	200,000,000	
1年内返済予定長期借入金	200,800,000	205,800,000	△ 5,000,000
仮 受 金		935,657	△ 935,657
預 り 金	88,450,158	80,714,625	7,735,533
未 払 法 人 税 等	5,161,600	17,145,700	△ 11,984,100
未 払 消 費 税	18,240,600	35,863,600	△ 17,623,000
賞 与 引 当 金	219,761,200	218,598,500	1,162,700
流動負債合計	1,534,539,252	1,645,388,284	△ 110,849,032
2. 固定負債			
長 期 借 入 金	396,450,000	597,250,000	△ 200,800,000
リ ー ス 負 債	172,688,979	255,593,799	△ 82,904,820
退 職 給 付 引 当 金	605,119,141	614,749,507	△ 9,630,366
長 期 未 払 金	18,265,608		18,265,608
固定負債合計	1,192,523,728	1,467,593,306	△ 275,069,578
負債合計	2,727,062,980	3,112,981,590	△ 385,918,610
III 正味財産			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	16,582,413	27,993,886	△ 11,411,473
指定正味財産合計	16,582,413	27,993,886	△ 11,411,473
(うち特定資産への充当額)	(16,582,413)	(27,993,886)	(△ 11,411,473)
2. 一般正味財産	7,939,736,154	7,728,834,749	210,901,405
(うち基本財産への充当額)	(300,000,000)	(300,000,000)	()
(うち特定資産への充当額)	(10,994,899)	(13,469,314)	(△ 2,474,415)
正味財産合計	7,956,318,567	7,756,828,635	199,489,932
負債及び正味財産合計	10,683,381,547	10,869,810,225	△ 186,428,678

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	394,315	523,626	△ 129,311
基本財産受取利息	394,315	523,626	△ 129,311
事業収益	12,938,385,488	12,752,092,698	186,292,790
入院収益	7,582,862,556	7,476,720,961	106,141,595
室料差額収益	464,141,000	446,072,500	18,068,500
外来診療収益	3,367,212,656	3,328,563,245	38,649,411
保健予防活動収益	767,404,511	754,005,503	13,399,008
その他の医業収益	175,550,385	162,810,356	12,740,029
保険等査定減	△ 25,562,432	△ 24,016,682	△ 1,545,750
介護老人保健事業収益	531,301,915	534,387,804	△ 3,085,889
訪問看護事業収益	57,048,181	55,464,671	1,583,510
居宅介護支援事業収益	18,426,716	18,084,340	342,376
受取補助金等	21,450,473	24,879,647	△ 3,429,174
受取補助金	8,239,000	11,089,000	△ 2,850,000
受取寄附金	1,800,000	210,000	1,590,000
受取補助金振替額	11,411,473	13,580,647	△ 2,169,174
その他収益	124,169,973	121,548,182	2,621,791
受取利息配当	1,090,007	1,316,431	△ 226,424
従業員他給食収益	16,636,381	15,625,619	1,010,762
不動産賃貸収益	75,959,360	73,862,696	2,096,664
雑収益	30,484,225	30,743,436	△ 259,211
経常収益計	13,084,400,249	12,899,044,153	185,356,096
(2) 経常費用			
事業費	12,851,452,522	12,744,316,412	107,136,110
給与費	6,824,700,532	6,726,106,708	98,593,824
給与	5,087,705,296	5,001,629,712	86,075,584
賞与	854,476,400	849,408,340	5,068,060

科 目	当年度	前年度	増 減
退職金	74,714,000	46,506,000	28,208,000
年金保険料	66,565,116	84,823,004	△ 18,257,888
退職給付引当金繰入	△ 9,630,366	14,111,648	△ 23,742,014
賞与引当金繰入	1,162,700	3,613,100	△ 2,450,400
法定福利費	749,707,386	726,014,904	23,692,482
材料費	3,071,409,828	3,029,819,393	41,590,435
医薬品費	1,840,210,522	1,832,821,995	7,388,527
診療材料費	1,203,267,470	1,174,421,060	28,846,410
給食用材料費	3,286,324	2,307,961	978,363
療養材料費	1,022,411	1,182,310	△ 159,899
その他の材料費	1,533,387	1,305,475	227,912
医療用消耗器具備品費	18,993,598	15,042,370	3,951,228
療養消耗器具備品費	3,096,116	2,738,222	357,894
経費	825,671,198	904,281,175	△ 78,609,977
福利厚生費	110,336,964	111,934,539	△ 1,597,575
旅費交通費	3,328,476	4,748,910	△ 1,420,434
職員被服費	8,431,752	16,979,540	△ 8,547,788
通信費	18,975,735	17,960,458	1,015,277
消耗品費	68,183,607	80,413,499	△ 12,229,892
消耗器具備品費	20,784,518	30,294,347	△ 9,509,829
車両費	4,657,917	4,980,690	△ 322,773
会議費	368,150	632,368	△ 264,218
光熱水費	198,428,778	226,916,567	△ 28,487,789
修繕費	42,810,087	63,105,570	△ 20,295,483
賃借料	237,506,593	238,288,877	△ 782,284
保険料	14,046,438	14,704,480	△ 658,042
交際費	7,148,645	6,797,369	351,276
諸会費	4,471,026	4,097,784	373,242
租税公課	38,282,600	39,050,856	△ 768,256
図書新聞費	1,704,459	2,261,591	△ 557,132
広告費	16,347,309	16,359,853	△ 12,544
寄附金	268,000	385,000	△ 117,000
貸倒損失	6,404,105	3,708,030	2,696,075
雑費	23,186,039	20,660,847	2,525,192
委託費	1,030,799,729	1,065,173,948	△ 34,374,219
検査委託費	134,424,188	131,016,053	3,408,135
歯科技工委託費	2,885,028	2,986,948	△ 101,920
給食委託費	290,161,937	286,733,417	3,428,520
寝具委託費	40,986,073	41,204,989	△ 218,916
洗濯委託費	48,099,256	49,181,601	△ 1,082,345

科 目	当年度	前年度	増 減
清掃委託費	124,935,541	126,417,353	△ 1,481,812
保守委託費	131,470,597	116,782,491	14,688,106
その他の委託費	257,837,109	310,851,096	△ 53,013,987
研究研修費	39,688,389	45,056,059	△ 5,367,670
研究費	23,267,347	22,361,366	905,981
研修費	15,725,268	22,065,680	△ 6,340,412
教育訓練費	695,774	629,013	66,761
減価償却費	700,472,121	609,487,050	90,985,071
建物減価償却費	82,454,304	85,083,036	△ 2,628,732
建物付属設備償却費	174,726,507	184,926,978	△ 10,200,471
構築物減価償却費	9,180,665	7,386,342	1,794,323
医療用器械償却費	255,470,600	153,568,944	101,901,656
医療用備品償却費	3,119,601	2,992,725	126,876
その他の器械償却費	40,879,099	33,669,483	7,209,616
その他の備品償却費	3,484,044	5,454,965	△ 1,970,921
車両減価償却費	3,629,639	3,398,958	230,681
リース資産償却費	82,433,440	95,514,803	△ 13,081,363
ソフトウェア償却費	14,855,918	9,157,745	5,698,173
長期前払費用償却額	6,055,966	4,166,203	1,889,763
繰延消費税償却額	24,182,338	24,166,868	15,470
その他費用	358,710,725	364,392,079	△ 5,681,354
支払利息	11,324,254	11,719,870	△ 395,616
貸倒引当金繰入	403,755	585,636	△ 181,881
控除不能支払消費税	344,843,963	349,933,051	△ 5,089,088
雑損失	2,138,753	2,153,522	△ 14,769
管理費	12,875,422	12,331,550	543,872
給与費	3,947,323	4,700,685	△ 753,362
給与	3,231,178	4,166,710	△ 935,532
法定福利費	372,821	533,975	△ 161,154
出向者分担金支出	343,324		343,324
経費	8,928,099	7,587,182	1,340,917
福利厚生費	1,126,091	292,160	833,931
旅費交通費	292,594	171,464	121,130
通信費	56,975	70,883	△ 13,908
消耗品費	371,295	334,177	37,118
会議費	191,239	286,967	△ 95,728
賃借料	385,200	420,000	△ 34,800
交際費	1,548,071	808,447	739,624
諸会費	163,000	213,000	△ 50,000
租税公課	113,587	14,800	98,787

科 目	当年度	前年度	増 減
図書新聞紙		15,284	△ 15,284
雑費	4,680,047	4,960,000	△ 279,953
研究研修費		43,683	△ 43,683
研修費		43,683	△ 43,683
経常費用計	12,864,327,944	12,756,647,962	107,679,982
当期経常増減額	220,072,305	142,396,191	77,676,114
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他経常外収益	12,513,942	320,524,247	△ 308,010,305
経常外収益計	12,513,942	320,524,247	△ 308,010,305
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2,538,084	4,229,053	△ 1,690,969
その他の経常外費用	18,956,758	3,596,452	15,360,306
経常外費用計	21,494,842	7,825,505	13,669,337
当期経常外増減額	△ 8,980,900	312,698,742	△ 321,679,642
税引前当期一般正味財産増減額	211,091,405	455,094,933	△ 244,003,528
法人税、住民税及び事業税	△ 190,000	△ 15,308,300	15,118,300
過年度法人税等調整額		25,087,417	△ 25,087,417
当期一般正味財産増減額	210,901,405	464,874,050	△ 253,972,645
一般正味財産期首残高	7,728,834,749	7,263,960,699	464,874,050
一般正味財産期末残高	7,939,736,154	7,728,834,749	210,901,405
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等		17,807,000	△ 17,807,000
一般正味財産への振替額	△ 11,411,473	△ 13,580,647	2,169,174
当期指定正味財産増減額	△ 11,411,473	4,226,353	△ 15,637,826
指定正味財産期首残高	27,993,886	23,767,533	4,226,353
指定正味財産期末残高	16,582,413	27,993,886	△ 11,411,473
III 正味財産期末残高	7,956,318,567	7,756,828,635	199,489,932

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益			394,315		394,315
基本財産受取利息			394,315		394,315
事業収益	9,721,136,645	3,217,248,843			12,938,385,488
入院収益	6,155,055,645	1,427,806,911			7,582,862,556
室料差額収益	362,764,000	101,377,000			464,141,000
外来診療収益	3,029,972,168	337,240,488			3,367,212,656
保健予防活動収益	123,999,112	643,405,399			767,404,511
その他の医業収益	72,674,943	102,875,442			175,550,385
保険等査定減	△ 23,329,223	△ 2,233,209			△ 25,562,432
介護老人保健事業収益		531,301,915			531,301,915
訪問看護事業収益		57,048,181			57,048,181
居宅介護支援事業収益		18,426,716			18,426,716
受取補助金等	21,450,473				21,450,473
受取補助金	8,239,000				8,239,000
受取寄附金	1,800,000				1,800,000
受取補助金振替額	11,411,473				11,411,473
その他収益	108,039,660	16,018,061	112,252		124,169,973
受取利息配当	781,011	304,747	4,249		1,090,007
従業員他給食収益	16,636,381				16,636,381
不動産賃貸収益	68,554,714	7,404,646			75,959,360
雑収益	22,067,554	8,308,668	108,003		30,484,225
経常収益計	9,850,626,778	3,233,266,904	506,567		13,084,400,249
(2) 経常費用					
事業費	9,636,993,549	3,214,458,973			12,851,452,522
給与費	4,577,231,742	2,247,468,790			6,824,700,532
給与	3,478,293,891	1,609,411,405			5,087,705,296
賞与	529,736,900	324,739,500			854,476,400
退職金	32,870,000	41,844,000			74,714,000

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合計
年金保険料	39,115,601	27,449,515			66,565,116
退職給付引当金繰入	2,146,634	△ 11,777,000			△ 9,630,366
賞与引当金繰入	828,900	333,800			1,162,700
法定福利費	494,239,816	255,467,570			749,707,386
材料費	2,922,281,713	149,128,115			3,071,409,828
医薬品費	1,763,416,992	76,793,530			1,840,210,522
診療材料費	1,142,643,651	60,623,819			1,203,267,470
給食用材料費	3,286,324				3,286,324
療養材料費		1,022,411			1,022,411
その他の材料費		1,533,387			1,533,387
医療用消耗器具備品費	12,934,746	6,058,852			18,993,598
療養消耗器具備品費		3,096,116			3,096,116
経費	553,298,456	272,372,742			825,671,198
福利厚生費	72,762,003	37,574,961			110,336,964
旅費交通費	1,443,777	1,884,699			3,328,476
職員被服費	6,757,426	1,674,326			8,431,752
通信費	10,737,967	8,237,768			18,975,735
消耗品費	48,567,696	19,615,911			68,183,607
消耗器具備品費	11,336,752	9,447,766			20,784,518
車両費	193,624	4,464,293			4,657,917
会議費	35,176	332,974			368,150
光熱水費	140,423,022	58,005,756			198,428,778
修繕費	39,730,493	3,079,594			42,810,087
賃借料	163,932,757	73,573,836			237,506,593
保険料	8,690,136	5,356,302			14,046,438
交際費	4,128,750	3,019,895			7,148,645
諸会費	1,999,564	2,471,462			4,471,026
租税公課	12,985,600	25,297,000			38,282,600
図書新聞費	644,280	1,060,179			1,704,459
広告費	10,296,987	6,050,322			16,347,309
寄附金	100,000	168,000			268,000
貸倒損失	5,977,651	426,454			6,404,105
雑費	12,554,795	10,631,244			23,186,039
委託費	686,268,710	344,531,019			1,030,799,729
検査委託費	35,741,678	98,682,510			134,424,188
歯科技工委託費	2,885,028				2,885,028
給食委託費	191,065,217	99,096,720			290,161,937
寝具委託費	14,900,733	26,085,340			40,986,073
洗濯委託費	36,123,702	11,975,554			48,099,256
清掃委託費	86,647,844	38,287,697			124,935,541
保守委託費	97,578,709	33,891,888			131,470,597

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合計
その他の委託費	221,325,799	36,511,310			257,837,109
研究研修費	37,953,597	1,734,792			39,688,389
研究費	22,907,352	359,995			23,267,347
研修費	15,046,245	679,023			15,725,268
教育訓練費		695,774			695,774
減価償却費	539,552,775	160,919,346			700,472,121
建物減価償却費	45,713,908	36,740,396			82,454,304
建物付属設備償却費	141,972,452	32,754,055			174,726,507
構築物減価償却費	4,438,918	4,741,747			9,180,665
医療用器械償却費	203,437,784	52,032,816			255,470,600
医療用備品償却費	2,561,909	557,692			3,119,601
その他の器械償却費	27,139,927	13,739,172			40,879,099
その他の備品償却費	2,338,495	1,145,549			3,484,044
車両減価償却費		3,629,639			3,629,639
リース資産償却費	82,433,440				82,433,440
ソフトウェア償却費	4,452,606	10,403,312			14,855,918
長期前払費用償却額	6,055,966				6,055,966
繰延消費税償却額	19,007,370	5,174,968			24,182,338
その他費用	320,406,556	38,304,169			358,710,725
支払利息	11,324,254				11,324,254
貸倒引当金繰入	255,741	148,014			403,755
控除不能支払消費税	306,744,148	38,099,815			344,843,963
雑損失	2,082,413	56,340			2,138,753
管理費			12,875,422		12,875,422
給与費			3,947,323		3,947,323
給与			3,231,178		3,231,178
法定福利費			372,821		372,821
出向者分担金支出			343,324		343,324
経費			8,928,099		8,928,099
福利厚生費			1,126,091		1,126,091
旅費交通費			292,594		292,594
通信費			56,975		56,975
消耗品費			371,295		371,295
会議費			191,239		191,239
賃借料			385,200		385,200
交際費			1,548,071		1,548,071
諸会費			163,000		163,000
租税公課			113,587		113,587
雑費			4,680,047		4,680,047
経常費用計	9,636,993,549	3,214,458,973	12,875,422		12,864,327,944
当期経常増減額	213,633,229	18,807,931	△ 12,368,855		220,072,305

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合計
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
その他経常外収益	12,511,052	2,890			12,513,942
経常外収益計	12,511,052	2,890			12,513,942
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	8,611	2,529,473			2,538,084
その他の経常外費用	18,956,758				18,956,758
経常外費用計	18,965,369	2,529,473			21,494,842
当期経常外増減額	△ 6,454,317	△ 2,526,583			△ 8,980,900
他会計振替額	1,956,246	△ 14,325,101	12,368,855		
税引前当期一般正味財産増減額	209,135,158	1,956,247			211,091,405
法人税、住民税及び事業税		△ 190,000			△ 190,000
当期一般正味財産増減額	209,135,158	1,766,247			210,901,405
一般正味財産期首残高	4,303,003,855	3,061,698,876	364,132,018		7,728,834,749
一般正味財産期末残高	4,512,139,013	3,063,465,123	364,132,018		7,939,736,154
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	△ 11,411,473				△ 11,411,473
当期指定正味財産増減額	△ 11,411,473				△ 11,411,473
指定正味財産期首残高	27,993,886				27,993,886
指定正味財産期末残高	16,582,413				16,582,413
III 正味財産期末残高	4,528,721,426	3,063,465,123	364,132,018		7,956,318,567

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価基準によっている。

(2) 主な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

建物は定額法、それ以外は定率法によっている。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引（リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下またはリース期間が1年以内のリース取引を除く）に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により償却している。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に対応する金額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

また、役員退職金については、将来の支給に備えるため関連規定に基づき引当金を計上している。

③ 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、税法限度額を基準に積み立てている。

(4) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

2. 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の金額は円で、注記の金額は千円未満を切り捨て表示している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：千円)

科	目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
基本財産					
預 金		300,000			300,000
小 計		300,000			300,000
特定資産					
建物付属設備		15,334		2,644	12,689
医療用器械		26,129		11,241	14,888
小 計		41,463		13,885	27,577
合 計		341,463		13,885	327,577

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預 金	300,000		(300,000)	
小 計	300,000		(300,000)	
特定資産				
建物付属設備	12,689	(5,820)	(6,868)	
医療用器械	14,888	(10,762)	(4,126)	
小 計	27,577	(16,582)	(10,994)	
合 計	327,577	(16,582)	(310,994)	

5. 担保に提供している資産
玉川病院の土地336,317千円及び建物969,365千円(いずれも帳簿価額)は、長期借入金396,450千円の担保に供している。
6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：千円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	4,867,159	3,125,165	1,741,994
建物付属設備	4,652,707	3,634,496	1,018,211
構築物	299,719	250,344	49,374
医療用器械	2,320,491	1,766,248	554,243
その他の器械	644,204	521,309	122,894
車両	61,917	60,393	1,524
リース資産	416,624	252,973	163,650
ソフトウェア	105,148	50,411	54,737
合 計	13,367,973	9,661,343	3,706,630

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：千円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	当期末残高
医業未収金	2,655,902	17,847	2,638,054
未収金	11,950	80	11,870
短期貸付金	19,810	133	19,677
長期貸付金	6,670	44	6,625
合 計	2,694,333	18,105	2,676,227

8. 賞与引当金

(単位：千円)

期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
218,598	219,761	△ 218,598	219,761

9. 退職給付会計

(1) 採用している退職給付制度

退職一時金及び確定給付企業年金制度を設けている。

(2) 職員退職給付債務及びその内訳

(単位：千円)

	期首残高	期中増減	期末残高
①職員退職給付債務	1,148,520	△ 56,286	1,092,234
②年金資産	655,410	△ 36,395	619,014
③退職給付引当金 (①-②)	493,109	△ 19,890	473,219

(参考) 役員退職引当金の状況は次のとおりであり、期末残高は上記(2)の職員に係る退職給付と合わせ退職給付引当金に計上している。

(単位：千円)

	期首残高	期中増減	期末残高
役員退職引当金	121,640	10,260	131,900

10. 税効果会計関係

収益事業等会計について記載している。

(1) 繰延税金資産の発生原因別内訳

(単位：千円)

賞与引当金損金算入限度超過 (流動繰延税金資産)	9,621
退職給付引当金損金算入限度超過 (固定繰延税金資産)	42,890
繰延税金資産合計	52,512

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：千円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残額	貸借対照表上の記載区分
補助金						
感染症診療医療機関施設整備費補助金	東京都	11,780		5,959	5,820	特定資産 (医療用器械) (建物附属設備)
地域救急医療センター整備費補助金	東京都	16,213		5,451	10,762	特定資産 (医療用器械)
臨床研修費等補助金	同愛記念病院		1,943	1,943		
院内保育事業運営費補助金	東京都		5,266	5,266		
新人看護職員研修事業補助金	東京都		530	530		
合 計		27,993	7,739	19,150	16,582	

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	14,111
合 計	14,111

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	
<玉川病院>				
(流動資産)				
現金	手許保管		運転資金	10,191,378
預金	みずほ銀行新橋支店他		運転資金等	2,939,603,616
医業未収金	玉川病院他		社会保険診療料他	2,638,054,732
未収金	玉川病院他		売店家賃代他	11,870,238
貯蔵品	玉川病院他		医薬品他	79,435,793
短期貸付金	玉川病院他		奨学貸付金	19,677,308
前払金	佐倉厚生園病院他		損害保険料	2,327,774
立替金	玉川病院他		社会保険料他	2,384,039
流動繰延税金資産	佐倉厚生園病院他		税効果調整額	9,621,432
流動資産合計				5,713,166,310
(固定資産)				
基本財産	預金	みずほ銀行新橋支店他	管理活動財産	300,000,000
特定資産	建物附属設備	玉川病院	感染症対策用設備(公益目的保有財産)	12,689,195
	医療用器械	玉川病院	地域救急医療センター整備費他(公益目的保有財産)	14,888,117
その他固定資産	土地	玉川病院敷地	病院棟等に使用(公益目的保有財産)	336,317,504
		世田谷区瀬田4丁目338番の1他 宅地、山林等20,875.91㎡		
		佐倉厚生園病院敷地	病院棟に使用	430,358,629
		佐倉市錦木町諏訪尾余320番地の1他 宅地、畑等30,836.29㎡		
		東急ハーヴェストクラブ土地持分	福利厚生施設	3,524,775
	建物	玉川病院	病院棟等として使用(公益目的保有財産)	969,365,296
		病棟、附属建物 7棟、職員宿舎1棟		
		佐倉厚生園病院	病院棟等として使用	538,023,198
		病棟他3棟、附属建物7棟、集会所1棟、 社宅10棟		
		老人保健施設2棟		223,630,726
		東急ハーヴェストクラブ建物持分	福利厚生施設	10,975,404
	建物附属設備	玉川病院	病院棟の電気設備等(公益目的保有財産)	810,114,332
		佐倉厚生園病院他	病院棟の電気設備等	195,407,826
	構築物	玉川病院	病棟外構工事等(公益目的保有財産)	25,701,181
		佐倉厚生園病院他	新館北側造園石工事等	23,673,396
	医療用器械	玉川病院	電子カルテ等(公益目的保有財産)	416,623,385
		佐倉厚生園病院他	医療用画像管理システム等	122,731,651
	医療用備品	玉川病院	空気圧式マッサージ器等(公益目的保有財産)	3,070,691
		診療所	心電アンプモジュール	53,786
	その他の器械	玉川病院	自動再来受付機等(公益目的保有財産)	63,346,469
		佐倉厚生園病院他	タック総合健診システムハードウェア一式等	59,547,697
	その他の備品	玉川病院	調光型LED蛍光灯(公益目的保有財産)	1,869,956
		佐倉厚生園病院	事務室シュレッダー等	57,598
	車両	玉川病院	病院車(公益目的保有財産)	1
		佐倉厚生園病院他	病院車等	1,524,591
	リース資産	玉川病院	医療用器械等(公益目的保有財産)	163,650,640

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	
	建設仮勘定	佐倉厚生園病院	病院本館大規模修繕工事代	16,920,000
	電話加入権	玉川病院	病院棟に使用(公益目的保有財産)	346,044
		佐倉厚生園病院他	病院棟に使用	1,297,051
	ソフトウェア	玉川病院	超過勤務管理システム等(公益目的保有財産)	9,945,050
		佐倉厚生園病院他	オーダリング連携システム等	44,792,289
	長期貸付金	玉川病院	従業員教育貸付等(公益目的保有財産)	6,401,690
		佐倉厚生園病院	従業員貸付	223,488
	繰延消費税	玉川病院	資産取得に係る控除不能消費税(公益目的保有財産)	52,878,000
		佐倉厚生園病院他	資産取得に係る控除不能消費税	18,485,647
	長期前払費用	玉川病院	滅菌器保守料等(公益目的保有財産)	6,154,078
		東急ハーヴェストクラブ	福利厚生施設営繕充当金	616,673
	敷金・保証金	玉川病院	借り上げ社宅等(公益目的保有財産)	9,671,500
		診療所他	借室等	23,946,812
		東急ハーヴェストクラブ	福利厚生施設保証金	8,227,166
	預託金	玉川病院	自動車リサイクル料(公益目的保有財産)	13,680
		佐倉厚生園病院他	自動車リサイクル料(公益目的保有財産)	259,310
	固定繰延税金資産	佐倉厚生園病院他	税効果調整額	42,890,715
固定資産合計				4,970,215,237
資産合計				10,683,381,547
(流動負債)				
	買掛金		医薬品、診療材料の購入に係る未払い額	589,767,259
	未払金		委託料等の未払額	212,358,435
	短期借入金	みずほ銀行他	賞与資金、運転資金	200,000,000
	1年内返済予定長期借入金	みずほ銀行他	病棟建設に係る借入金	200,800,000
	預り金	源泉預り金、分働保証金	職員の所得税、住民税の源泉預り金等	88,450,158
	未払法人税等		法人税、住民税及び事業税	5,161,600
	未払消費税		平成28年3月期消費税等の確定納付額	18,240,600
	賞与引当金		賞与の支給見込額のうち、当会計期間の負担額	219,761,200
流動負債合計				1,534,539,252
(固定負債)				
	長期借入金	みずほ銀行他	病棟建設・電子カルテ導入等に係る借入金	396,450,000
	リース負債		リース資産に係るリース料未払額	172,688,979
	退職給付引当金		職員退職金の期末現在退職給付要支給額(年金資産残高を控除)等	605,119,141
	長期未払金		医療用器械の割賦購入代	18,265,608
固定負債合計				1,192,523,728
負債合計				2,727,062,980
正味財産				7,956,318,567

平成28年5月13日

監査報告書

公益財団法人日産厚生会

理事長 中嶋 昭 殿

公益財団法人日産厚生会

監事

上肥 元 芳



監事

宮坂 徹 尊



私たちは、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度における
会計及び業務の監査を行いましたので、次のとおり報告致します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手
続を用いて計算書類の正確性を検討致しました。
- (2) 業務監査について、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係
書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討
致しました。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と
一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正な行為又は法令もしくは定款に違反する重大
な事実は認められません。

以 上